

平成 30 年度 専門領域推進部 ウィメンズヘルス領域 第 5 回 勉強会 活動報告

日 時：平成 30 年 8 月 29 日（水）18：30～20：30

会 場：山形済生病院 リハビリテーション室

テーマ：骨盤底機能不全に対する評価とアプローチ

参加者：庄司優喜子、坂本優捺、本間千尋（山形済生病院）、井上由梨絵（北村山公立病院）、
浦山樹、斉藤香保里、渡辺彩那（山形大学病院）、小泉静久（県立河北病院）、
瀬尾麗奈、佐藤祐美、佐藤梓（至誠堂総合病院）、木崎詩歩（のぞみの園）、
後藤舞、土田瑞華（篠田総合病院） 14 名

今回の勉強会では、「骨盤底機能不全に対する評価とアプローチ」というテーマで勉強会を行った。8/26 宮城県にて、田舎中真由美先生（フィジオセンター）をお呼びして行われた研修会に参加したウィメンズヘルス部門の会員を中心として、触診などの練習会となった。今回ウィメンズヘルス分野の勉強会に初めて参加される方が多かったが、骨盤底筋群の解剖や機能、加えて触診時のランドマークとなる骨の確認から始め、実際の骨盤底筋トレーニングを指導した。また治療の流れとして、問診や姿勢・動作の評価から問題点が胸郭、体幹、骨盤のどこにあるのか見極め介入した。ウィメンズヘルス分野においても、運動器疾患の患者様への介入と同様に問診や姿勢・動作分析をし、問題点を抽出することが重要となる。

山形では臨床に関わる機会が少ない分野ではあるものの、興味を持っている理学療法士がたくさんいると感じる。共に学び、情報交換を行いながら今後発展を図っていきたいと考える。

文責：本間

